



# 商店街の個店を再生！

業種 文具卸小売り  
代表 押村宣広  
住所 名古屋市南区内田橋 1-3-6



## ・事業者の概要

同社は100年近く続く老舗の文具店。内田橋商店街の中心に位置している。先々代がノートと日めくりカレンダーの製造会社として創業、その後伊勢湾台風で被害を受け文具・事務用品の小売、卸売りで事業継続してきた。文具商品は時代が変化中、その需要も大きく変化していて、どこも文具店も苦戦を余儀なくされている。店舗売上の減少を補うために、学校や企業への卸売りに注力して事業を続けている。

代表の押村さんは内田橋商店街の活性化を担う中心人物でもあり、空き店舗への出店を希望する新規事業者の受け入れや商店街イベントの企画運営にも奮闘し、低迷する商店街を支えるべく尽力してきた。商店街への新規の出店が地域にあらたな価値とおしゃれ感をもたらしてくれる一方で、いざ自店を顧みたとときに、自分の店はこれでいいのか？と疑問を感じるようになった。何十年も手をかけていない店舗、古さや汚れ、品揃えの弱さを補うための店舗面積の縮小など、自分の店は衰退していく一方である。自店も商店街をリードすべき店であるべきでは？の思いで、専門家の知恵を借りてお金をかけない改装を行った。

## 店舗前にて



## ・表面化している課題

改装によって店舗は広く明るくきれいになった。その一方でリニューアルした店舗をどうやって維持し発展させるべきか？について先代の両親と意見の相違がみられるようになった。あたらしい商品の目利きや仕入、仕入れた商品をどこにいくつ陳列するか？どうやって売るか？等、店をよくしたいと同じ思いがあるにもかかわらず、やり方で意見が衝突する。

## ・支援者の分析と判断

ここでは専門家によって適正で中立的な指導を受けた方が良いのではないか？店舗はいったん完成したものの、お客さんは増えていない。

### 改装前ビフォー



### 改装後アフターさらに進化中



## ・課題解決への提案

商店街の活性化は個店の活性化こそが必須。地域をリードする店舗となるために、量にこだわらず質を高める売場と陳列を提案。専門家派遣によって、さらに少しずつ手を加えて、お店がもっと来店されるお客さんに向き合うような仕掛けを提案。改装を継続するうちに店主の押村さんが店への関わり方を深く考えるようになり、店内にワークショップスペースを設置した。

## ・実行内容

目指す方向性を確認しながら、現地で売り場づくりを実施。ワークショップスペースの設営に合わせて、商品陳列の見直し、サービスの提供による新たな顧客層の獲得を狙う。

## ・成果と今後の進め方

改装によって新規客が増えつつある。店舗の売上3割アップを目指し、再度お店を事業の中心拠点としていく。



## 事業者さんの声

商店街の活性化は、新規の出店者を呼び込むだけでなく、そこにあるすべてのお店がよくなる必要があると感じた。

お店のあり方も再度見つめ直すべきだと思った。顧客のために活かせる場所が重要である。

(公財)名古屋産業振興公社 名古屋市新事業支援センター

〒464-0856 名古屋市千種区吹上二丁目6番3号 名古屋市中心企業振興会館5階 TEL:052-735-0808 FAX:(052)735-2065

無料の  
窓口相談

右の二次元コードリンク先の申込フォームページから必要事項を入力し、お申し込みください  
<https://ws.formzu.net/dist/S27720287/>

